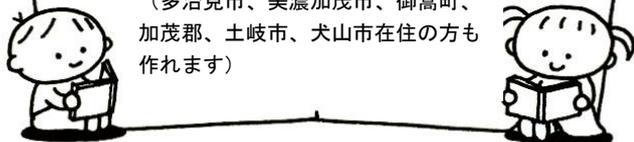


貸出カードはお持ちですか？

**可児市内在住、通勤・通学
している人は、どなたでも貸
出カードを登録できます。**

(多治見市、美濃加茂市、御嵩町、
加茂郡、土岐市、犬山市在住の方も
作れます)



＜図書館は利用者の個人情報を守ります＞

カードを作るための住所・電話番号などはもちろん、利用者の方が借りる資料名なども個人情報になります。このため予約の本が確保できた時の連絡も、本人以外には家族であっても書名を伝えることは控えるなど、様々な面で注意を払っています。

図書館で届出していただいた情報は、図書館のサービス以外の目的には使用しません。

＜利用案内＞

- 貸出カードは、ご本人のものです。乳幼児の場合も、ご本人がいる時に作ることができます。
- 住所を確認できるもの（免許証、健康保険証、学生証等）をお持ちください。
- 有効期限は3年後のお誕生日になります。
- 貸出カードは、本館・帷子分館・桜ヶ丘分館・移動図書館ひまわり号のどこでも利用できます。
- 貸出冊数は一人10点まで、貸出期間は3週間です。図書、雑誌、視聴覚資料など合わせて10点までです。ただし、視聴覚資料（CD、DVD等）は、10点のうちの5点までです。
- 借りた本は、本館・帷子分館・桜ヶ丘分館・移動図書館ひまわり号のどこでも返すことができます。閉館の時は、玄関横の返却ポストに返すことができます。

職員のおすすめ《この書き手に注目！》

柳澤 桂子

(やなぎさわ けいこ 1938年東京都生まれ)

生命学者、サイエンスライター、歌人。お茶の水女子大学卒業後、夫とともにアメリカへ渡りコロンビア大学博士課程を修了。1969年、原因不明の難病を発症し、以後長い闘病生活を送る。『二重らせんの私』(早川書房)『生きて死ぬ智慧 (堀文子：画)』(小学館)『日本人への祈り』(角川春樹事務所)など多数の著作を発表。

『いのちの時 [ランティエ叢書]』(角川春樹事務所 2002年)では、著者がこれまでの人生を振り返り、女性として、科学者として、母として抱いた思いが語られています。昭和の時代、女性が大学で学問を修め、研究員として仕事をするには、想像を超えるほど苦難の道だったと思います。また、戦争や原発、遺伝子診断といった現代社会が抱える問題にも触れ、「生命」について向き合い、考えることの重要性を語っています。難病を患い、幾度も命の危機を乗り越えてきた柳澤さんだからこそ、その言葉は「生命」への慈愛と畏敬に満ちていると感じます。

(帷子分館 福井)

小川 洋子

(おがわ ようこ 1962年岡山県生まれ)

早稲田大学文学部卒業。1991年『妊娠カレンダー』(文藝春秋)で芥川賞を受賞。2004年『博士の愛した数式』(新潮社)で読売文学賞、本屋大賞を受賞。他の主な作品に『沈黙博物館』(筑摩書房)、『ブラフマンの埋葬』(講談社)などがある。

今回紹介する本は、デパートの屋上で生涯を終えた象のインディラのエピソードから、この物語の世界に引き込まれて読んだ『猫を抱いて象と泳ぐ』(文藝春秋)です。

祖母と弟と共に行くデパートで、屋上にいた象に思いをはせる少年。生まれつき唇に障害をもつこの少年は、人と言葉を交わすことが苦手です。あるとき廃バスに住む男“マスター”と出会い、チェスを教えられる。チェス盤を通して、どんなに小さな場所でも、大切なものを知ることができたら、それでいいのかもと。

チェスのルールを知らなくても読むことができ、心温まるような、ちょっと寂しい気持ちが残る静かな話です。

(桜ヶ丘分館 高田)

分類	書名	著者名	出版者名
情報・読書 哲学			
019/ナ/	51 歳からの読書術 中年には中年なりの、若者にはまねできない読書がある。ご同輩たちよ、一緒に本を読もうではありませんかー。プロの「本案内人」による読書指南術。51 歳からの読書の楽しみ方を、自身の経験を交えて語る。	永江朗／著	六耀社
019/ワ/	知的生活の準備 現代で「知的生活」を送るためにはどのような準備が必要なのか。現代を豊かに生きていくための「教養」を手に入れる、その基礎と実践を紹介する。	渡部昇一／著	KADOKAWA
130/イ/	はじめての哲学 プラトンの「イデア論」、デカルトの「方法序説」、ヘーゲルの「弁証法の哲学」、マルクスの「史的唯物論」…。14 人の哲学者の人生をたどりながら、その思想を学ぶ哲学入門書。	石井郁男／著	あすなる書房
歴史・地理			
210.7/ハ/	B 面昭和史 民衆がかつてどんなふうに関与したのか、あるいは同調して戦争に向かったのか。「昭和史」と対をなす、国民の目線から時系列で綴った“もうひとつの昭和史”。	半藤一利／著	平凡社
289.3/マ/	世界を変える知的障害者 親の虐待、精神遅滞児施設での放置、暴力に苦しみ、何もわからない無価値の存在と思われていたニュージーランドの知的障がい者が、「人」として認められ国際社会を動かすまでの存在となっていく感動の物語。	ジョン・マクレー／著	現代書館
社会			
367.3/サ/	子の無い人生 期せずして子の無い人生を歩む著者が、ママ社会、世間の目、自身の老後から沖縄の墓事情まで、子がいないことで生じるあれこれを真正面から斬る！	酒井順子／著	KADOKAWA
374.6/フ/	モンスターマザー 不登校の高1男子が自殺した。校長を殺人罪で告訴した母親、加勢する人権派弁護士、県議、妄信するマスコミ。自殺の真相を求め、教師たちは“モンスター”との対決を決意する…。	福田ますみ／著	新潮社
385.6/タ/	樹木葬という選択 日本の墓地状況や歴史的な変化を追うとともに、世界に広がる「緑の埋葬」事情と、森になる樹木葬を行っている日本の寺院・霊園を訪ね歩いてレポート。樹木葬が増える背景を考察する。	田中淳夫／著	築地書館
自然科学・医学			
410.4/チ/	数学教室π の焼き方 「世界から数学嫌いをなくすこと」を使命とする、YouTube で人気の数学者による数学的思考のレクチャー。料理の例のみならず、日常生活のさまざまな状況を使って、抽象的な数学の概念をわかりやすく説明する。	ユージニア・チェン／著	原書房
469.9/カ/	日本人はどこから来たのか？ 世界各地の遺跡の年代調査比較、DNA 分析、石器の比較研究…。国立科学博物館気鋭の人類学者の重層的な調査により、これまでほとんど語られたことのない、祖先たちのアフリカから日本列島へ至る大移動の歴史を描き出す。	海部陽介／著	文藝春秋
498/サ/	健康になれない健康商品 「※効果には個人差があります」の本当の意味は？ 医者や大学教授のお墨つきはどれだけ信用できる？ 製薬会社の研究者だったサイエンスライターが、メディアにおどる健康情報の表と裏を、わかりやすく解説する。	佐藤健太郎／著	春秋社
技術・家政			
537.0/モ/	IoT で激変するクルマの未来 自動運転、車載 OS…。急速に進む IoT(モノのインターネット)化によって、社会におけるクルマの存在価値と存在意義が大きく変わろうとしている。100 年に一度の大転換期の真只中にある自動車産業の実態を紹介する。	桃田健史／著	洋泉社

590.4/ス/2	フランス人は10着しか服を持たない 2	ジェニファー・L・スコット／著	大和書房
	お気に入りの飲み物はゆっくり味わう。出かけない日も身ぎれいにする。フランスの貴族の家にホームステイした著者が、パリで学んだ日常の家事を楽しくするコツや、心が深く満たされるエレガントな暮らし方を紹介する。		
599.0/ミ/	ははがうまれる	宮地尚子／著	福音館書店
	「赤ちゃんの泣き声に腹が立つ」「結婚相手との習慣の違いに戸惑う」…。多くの人のトラウマと向き合ってきた精神科医が、子育てのヒントをやさしくつづる。		
芸術			
709.1/7/	国宝消滅	デービッド・アトキンソン／著	東洋経済新報社
	今のままでは、何千年間も守られてきた日本の伝統文化が断絶してしまう…。国宝をはじめとする日本の文化財をめぐるさまざまな問題と、それを解決するためにはどのような手を打たなくてはならないのかを記す。		
日本文学—文学論、詩、小説			
908.8/サ/	名作うしろ読みプレミアム	斎藤美奈子／著	中央公論新社
	名作のラストはどうなっている？「吾輩は猫である」「鬼平犯科帳」から「ライ麦畑でつかまえて」「白雪姫」まで、さまざまなジャンルの名作137冊をラストの一文から読み解く文学案内。		
911.1/ト/	キリンの子	鳥居／著	KADOKAWA
	目の前で母の自殺、小学校中退、施設での虐待、ホームレス生活。拾った新聞で字を覚え、短歌に出会って生きのびた天涯孤独のセーラー服歌人の初歌集。		
913.6/アカ/	鼠、地獄を巡る	赤川次郎／著	KADOKAWA
	昼は酒売り、夜は大泥棒という2つの顔を持つ鼠小僧次郎吉。妹の小袖と温泉にやってきた次郎吉だが、女湯で侍が殺される事件が起きて…。「鼠」シリーズ第9弾。		
913.6/イワ/	情け深くあれ	岩井三四二／著	文藝春秋
	元武士の英俊は、許嫁とも生き別れ、のちに日本医学中興の祖と称えられる曲直瀬道三のもとで修行中。戦乱の世に翻弄されながら、彼は果たして“慈仁”の境地に辿り着けるのか。		
913.6/キリ/	バラカ	桐野夏生／著	集英社
	震災のため原発4基がすべて爆発！警戒区域で発見された一人の少女「バラカ」。ありえたかもしれない日本で、世界で蠢く男と女、その愛と憎悪。ノンストップ・ダーク・ロマン。		
913.6/サ/	九十九藤(つづらふじ)	西條奈加／著	集英社
	江戸の人材派遣業、口入屋の女主人お藤。祖母仕込みの人を見る目と持ち前の胆力で、傾きかけた店を繁盛させていく。波乱万丈の半生を描く時代長編。		
913.6/スギ/	カナリア恋唄	杉本章子／著	講談社
	狂言師仲間が、大奥の女子同士の色模様「といちはいち組」に引きこまれたあげく、自害に見せかけて殺められた。隠密の手駒もつとめる人気役者の歌吉が、密名を帯び…。		
913.6/トウ/	真説真田名刀伝	東郷隆／[著]	角川春樹事務所
	真田信繁(幸村)の最後の刀となった名刀「茶臼割り」。謀略に満ちた北関東の戦国時代、海野・真田一族らの歴史を見つめた稀代の日本刀の伝承を描いた書き下ろし歴史小説。		
913.6/ナガ/2	教場 2	長岡弘樹／著	小学館
	“退校”宣告から執行までのタイムリミットは1週間。風間教場に編入された不運を呪いながら、己と闘え！スリリングにしてミステリアスな“警察学校”小説。		
913.6/ハム/	神剣	葉室麟／[著]	角川春樹事務所
	幕末、尊攘派の志士として、「人斬り彦齋」の名で恐れられた男・河上彦齋の苛烈な人生と志を描き切る歴史長篇。		
913.6/ヒヤ/	カエルの楽園	百田尚樹／著	新潮社
	安住の地を求めて旅に出たアマガエルのソクラテスとロベルトは、平和で豊かな国・ナバージュに辿り着く。そこではツチガエルたちが、奇妙な戒律を守り穏やかに暮らしていたが…。大衆社会の本質を衝いた、寓話的「警世の書」。		

913.6/マツ/2

水鏡推理 2 インパクトファクター

松岡圭祐／著

講談社

文科省・不正研究調査チームの水鏡瑞希。ノーベル賞級の論文を科学誌に掲載した研究班リーダーの如月智美は瑞希の幼なじみだった。勃発する実験ノート窃盗と捏造疑惑。智美に降りかかる災いの真相とは？

913.6/AL/

うちのご近所さん

群ようこ／著

KADOKAWA

家を出ようと思いつつ実家に居着いてしまったマサミ。ご近所には、白塗りのセンダさんなど奇妙な人がいっぱい…。ご近所さんとある一家の30年をユーモラスに描く連作短篇集。

913.6/ユズ/

幹事のアッコちゃん

柚木麻子／著

双葉社

妙に冷めている男性新入社員に、忘年会プロデュースの極意を…。表題作ほか、背中をバシッと叩いて導いてくれる、アッコさん節サク裂の全4編を収録。シリーズ第3弾。

エッセイ、ルポルタージュ

914.4/ヨシ/

絵巻で見る・読む徒然草

海北友雪／絵

朝日新聞出版

江戸時代初期の絵師・海北友雪が描いた「徒然草絵巻」と、絵巻に対応する段の原文、現代感覚あふれる「超訳」を収録。絵巻の美しさだけでなく、徒然草の内容そのものも楽しめる。

916/シミ/

112日間のママ

清水健／著

小学館

もっと一緒にいたかったー。乳がんで亡くなった妻・奈緒さん(享年29)。そのとき、長男は生後112日だった…。関西の人気テレビキャスター・清水健が、家族3人の闘いを初めて明かす。

展 示 の ご 案 内

■ 3 / 26 (土) ~ 4 / 28 (木) ■

読みくらべ絵本「三びきのこぶた」展

(本館1階)

「三びきのこぶた」といえば、レンガの家を建てて子ブタが主人公の昔話ですが、本によって様々な描かれ方をしています。岐阜県図書館の児童図書研究室からお借りして展示します。

4月23日から「こどもの読書週間」が始まります。

幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか、言うまでもありません。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

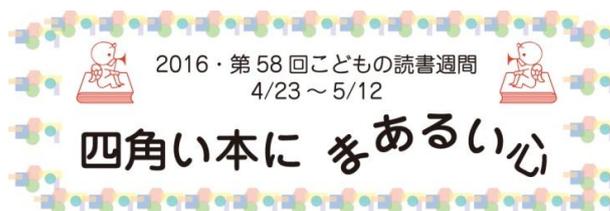
可児市は、「こどもの読書活動推進計画(第3次)」に基づき、子どもを取り巻く大人が読書に興味を持てるよう、展示などを通じて児童書の魅力をお知らせします。

■ 4 / 30 (土) ~ 5 / 26 (木) ■

こどもの読書週間特集**この本なんだ？****クイズであてよう本のなまえ展**

(本館1階)

本のあらすじやキャラクターから、題名をあててくださいね。クイズで楽しむ絵本と児童書の展示です。親子でチャレンジしてください。(こどもの読書週間：4月23日~5月12日)

**可児市子どもの読書活動推進計画(第3次)を策定**

可児市図書館協議会で協議を重ね、パブリックコメントを経て、平成28年3月に「可児市子どもの読書活動推進計画(第3次)」を策定しました。第3次の計画期間は、平成28年度から平成31年度の4年間です。計画書は、可児市ホームページ及び可児市立図書館ホームページで見ることができます。

開館時間【本館】平日 10:00~19:00、土日祝 10:00~17:00
【分館】全日 9:00~17:00

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日
(4月 4,11,18,25,29日)

携帯用
サイト

「図書館だより」2016年4月号

発行：可児市立図書館 編集：長谷川(本館) 電話(0574)62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。